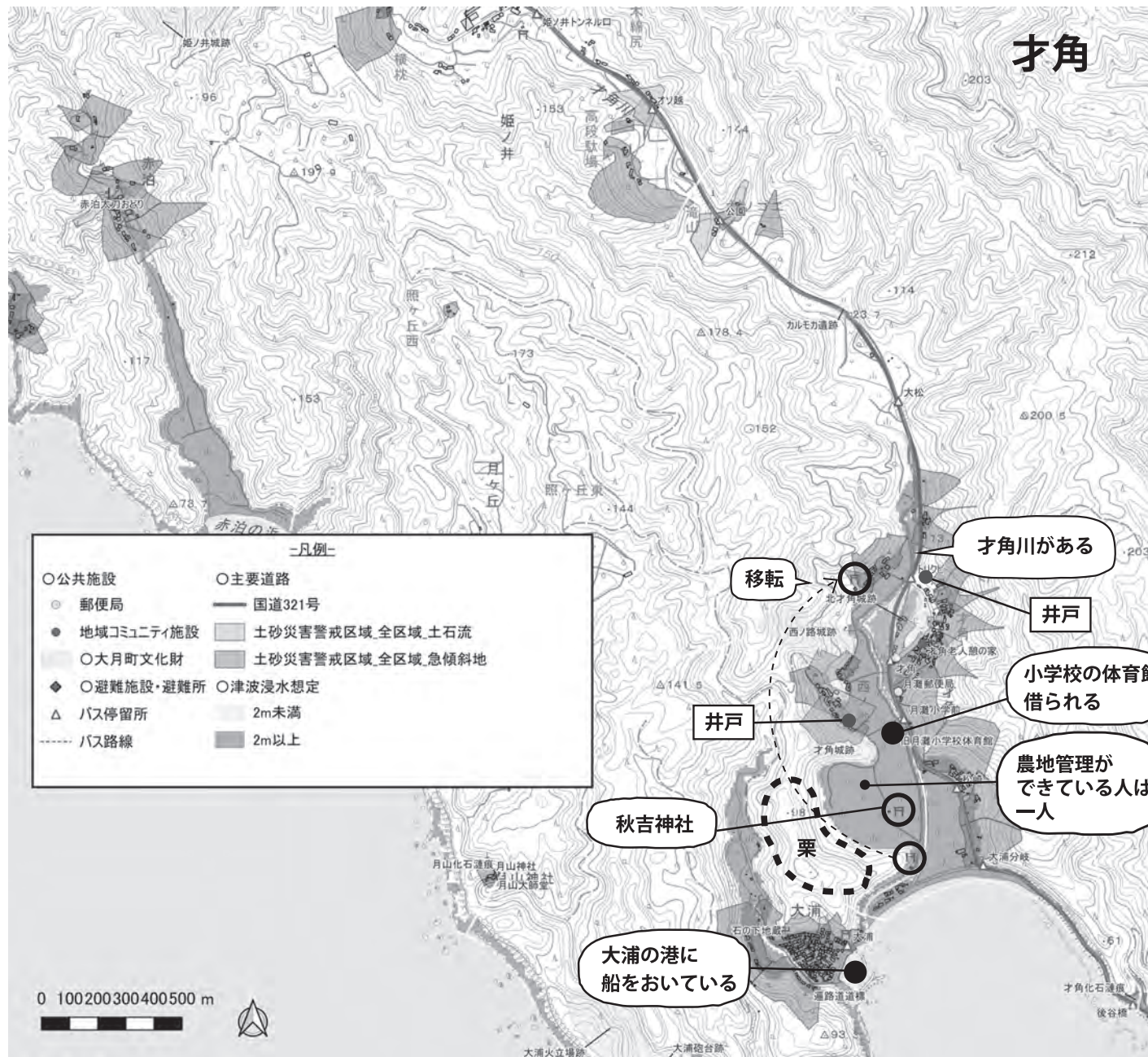




『事前復興まちづくり計画策定の流れ（予定）』

令和7年度以降も計画策定にあわせて、継続的に地区での話し合いの場を設けます。皆さまの意見をもとに、地区毎の復興まちづくり計画としてまとめていきます。
※以下は予定のため、今後変更になる可能性があります

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
計画策定の取組	→			
有識者委員会等	▼	▼	▼	▼
地区での検討	第1回（今回） 地区の状況を共有する	第2回（仮） 復興目標を考える	第3回（仮） 土地利用を考える	第4回（仮） 地区での準備を考える
				パブリックコメント

お問い合わせ

大月町役場 総務課 危機管理室
〒788-0302 幡多郡大月町弘見 2230 番地
Tel：0880-73-1140 Fax：0880-73-1380

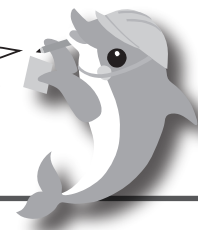


ホームページ



OTSUKI_JIZENFUKKO

大月町事前復興まちづくりの様子をホームページやインスタグラムで発信しています！ぜひフォローしてください！



大月町 事前復興 まちづくり かわら版

才角

第1号

事前復興計画に向けた地区座談会を開催。
地区についてたくさんの意見がでました！

2024年12月4日（水）9:30～11:30、才角区長場にて事前復興計画に向けた地区座談会を行いました。

地区座談会では、地区にお住まいの皆さまで改めて地区の状況を共有することを目的に、まずは、被災後も残していきたい「地区の強み・魅力」、復興まちづくりに併せて解消したい「地区の弱み・課題」を出し合いました。

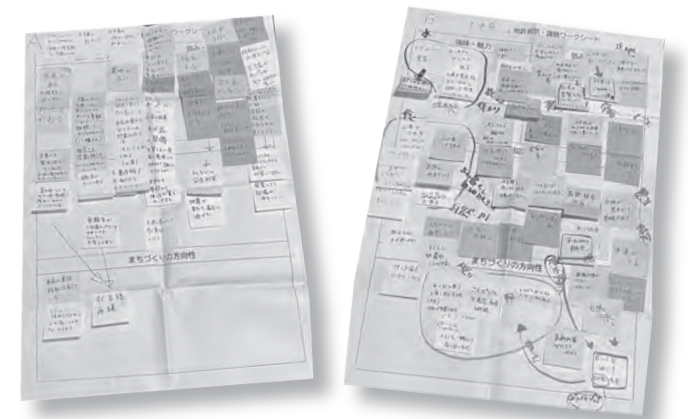
その後、「地区の魅力を伸ばす」「地区の課題を解決する」ためのアイデアを出し合い、最後に「復興まちづくりの方向性」を話し合いました。

今回の結果を踏まえ、来年度以降も地区での話し合いの機会を設けていく予定ですので、今回ご都合がつかなかった方を含め、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



令和6年度から8年度まで事前復興の取組として、沿岸18地区の皆さまと話し合いを行います。

大月町は東日本大震災後から続けている避難路整備を始めとした町民の皆さまの命、生活を守り繋げる「防災」の取組と併せて、令和5年度より、災害が発生した際にどのように町や地域を復興するのかを予め考える「事前復興」の取組を開始しました。特に、南海トラフ地震による津波で被害の発生が危惧される沿岸18地区において、令和9年度の計画策定を目標に、令和6～8年度までの3年間、地域の皆さまと話し合いをしながら、地区別に復興の形を一緒に考えていきます。



大月町役場 才角の担当職員の紹介

令和9年度の計画策定にむけ、3名の町職員が地区担当職員として地域での話し合いを支援します。



浜田 征臣



中平 成海



山下 健太

地区座談会等を通して才角地区の皆さまと一緒に地区の課題や魅力を洗い出し、事前復興計画策定に向けて防災や復興について考えたいと思っています。これからよろしくお願いします。

皆さまと話し合った内容を
2～4ページにまとめています。

自然環境について

- 良さ**
- ・自然がたくさんあり、散歩にぴったり
 - ・湧水が豊富
 - ・山で栗がとれる
 - ・観光客がたくさん来る
 - ・川が低くて流れが良い
- 課題**
- ・川が低くあふれる
 - ・山の木が茂っている
- アイデア**
- ・林業として地域おこし協力隊の仕事にできたらよい

海のこと

- 良さ**
- ・紅サンゴがある
 - ・大浦にしている船で魚を捕りに行ける
 - ・釣り客が来る
 - ・イカの日干しがおいしい
- 課題**
- ・港がない（農業の方が盛んだった）

文化のこと

- 良さ**
- ・継続してお祭りを行えている
 - ・地藏、観音、弘法大師の年3回あったお祭りを1回（8月）にまとめ、女性が当番を回している
 - ・金比羅山、天満宮、秋吉城跡がある
 - ・昔お城が3つあった（案内板があったが今はない）
 - ・秋吉さま、学業の神様など沢山の神様が入っている
 - ・受験生がご利益のパワーを聞きつけて沢山お参りに来る
 - ・当番があり草刈りなどを行いきれいな景観を保っている
- 課題**
- ・当番ができる人が少なくなった

暮らしのこと

- 良さ**
- ・散歩がしやすい
 - ・健康的な人が多い
 - ・声をかけやすく安心感がある
 - ・老人クラブがある（輪投げ火曜日 13:30~15:00）
 - ・体育館が借りられる（体を動かせる）
 - ・体育館でスカッシュバレーボールをやっている（72、73 歳くらいでもできる）
 - ・薪のお風呂が多いかも
 - ・断水もなく水が使いやすい
 - ・郵便局がある
 - ・ケーキ屋さんがある
 - ・移動スーパーが来る（週に1回か2回程度、日用品なども買える）
- 課題**
- ・人口が少ない
 - ・高齢化でマンパワーがない
 - ・空き家が多い
 - ・小学校があった時は行事もあり楽しかった（学校がなくなった）
 - ・賑わいがなくなった
 - ・お店がない（商売の後継者がいない）
 - ・仕事がない
 - ・若い人の集まりが悪い
 - ・町内放送が聞き取りにくく集まりにくい（音質改善をしてほしい）

道路・公共交通のこと

- 良さ**
- ・国道沿いを清掃してくれている
- 課題**
- ・自分で運転をして買い物に行くことができない
 - ・買い物に行く足がない
 - ・コミュニティバスが来てくれると移動しやすい
 - ・バスの便数が少なく不便

防災について

- 良さ**
- ・湧水が豊富
 - ・井戸がある（整備が必要）
 - ・水道が普及するまでは谷水と井戸水で生活していた
 - ・水利組合がある（5人）
 - ・国道があり、内陸部に逃げやすい
- 課題**
- ・急傾斜が多く、土砂崩れの心配があり、道が寸断され、孤立するかもしれない
 - ・避難所に雨風をしのげる場所がない
 - ・飲み水の確保が心配
 - ・川が低くあふれる
 - ・津波が来る
 - ・区役場にはテレビもラジオもない（何かあったときに集まるのに心細い）
 - ・消防の放送が聞こえづらい
 - ・避難訓練が少ない（炊き出しなどの訓練）
 - ・大丈夫と思っている人がいる
- アイデア**
- ・井戸の整備をする、浄水器の整備
 - ・水質の改善→煮沸したら飲めるのかを調べる（日ごろから井戸を使用し水質を維持する）
 - ・山の急傾斜の安全対策をする
 - ・地震が来たら高台に逃げる
 - ・発電できる設備があるとよい
 - ・防災無線など聞こえる場所と聞こえない場所があるため、調べて対策をしてほしい

自給自足ができる

- 良さ**
- ・広い農地がある
 - ・農地がまとまっている
 - ・畑で自分たちが食べる野菜を育てている
 - ・ツワブキ、イタドリ、栗、ワラビ、タケノコなどの山菜が採れる
 - ・農作物をあげたりもらったりできる（魚ももらえる）
 - ・川エビがとれる（ミョウガ、ハッチョウなど、きゅうりと煮るとおいしい）
- 課題**
- ・管理者が減少し、耕作放棄地が多い
 - ・イノシシに畑を荒らされる（山芋も採れなくなった）
- アイデア**
- ・荒れた畑の管理をする

まちづくりの方向性

- 今の生活を大切に
ずっと住み続けられるまちづくり
- ・荒地の解決
- ・鳥獣対策をする
- ・訓練もほどほどに
- ・事前の集団移転は考えていない（ここに住み続けたい人が多いんじゃないだろうか）
- ・才角に住み続ける
- 若い人が住みたいと思えるまちづくり
- ・空き家の活用
- 伝統的文化を大切にする
- ・秋吉様の再建